

ELSI

Ethical, Legal, and Social Issues

倫理的、法的、社会的問題



日本原子力研究開発機構が2019年10月31日に公表した将来ビジョン「JAEA 2050+」(参考資料①)

原子力科学技術を通じて持続可能な社会のためのソリューションを提案

原子力をめぐっては、放射性廃棄物に関する世代間の衡平性など、原子力科学技術を利用するうえで不可欠な倫理的、法的、社会的問題 (ELSI) が存在します。

ELSI?

エルシー?

ひとことと言えば

(参考資料②) p.43

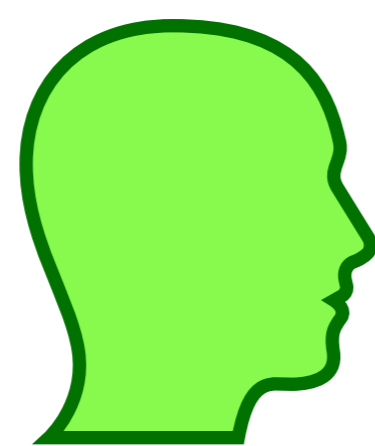
「人間は技術的に可能なことを何でもやってよいわけではない」

っということ

元々はアメリカでヒトゲノム計画の頃に出てきた言葉のようです。新しい技術で私たちの暮らしは便利になっていくけれど、場合によってはそれが社会に思わぬ影響を及ぼすこともあります。そういう影響を予見して、どう対処すべきか考えることがELSI・・・なんですって。

(参考資料③)

例えば



クローン人間

1999年 科学技術会議 生命倫理委員会

クローン技術による人個体の産生等について

(参考資料④)

クローン技術による人個体の産生には人間の尊厳の侵害等から重大な問題があり、その弊害の大きさから、法律により罰則を伴う禁止がなされるべきである。

これを受けて、



ヒトに関するクローン技術等の規制に関する法律 (参考資料⑤)

第3条

何人も、人クローン胚、ヒト動物交雑胚、ヒト性融合胚又はヒト性集合胚を人又は動物の胎内に移植してはならない。

これで「クローン人間作っちゃダメよ」と言ってることになる・・・らしい。

さて、本題の原子力研究開発機構の将来ビジョンですが、こう言ってます。

(参考資料①) p.6

原子力をめぐるELSIのような諸課題は、技術だけで解決できるものではなく、さまざまな分野との横断的な取組により、社会と一体となって解決すべき問題です。
“新原子力”ではこれらの問題に対しても真正面から取り組み、研究開発機関として、さまざまな分野との連携をめざしながら、原子力科学技術を駆使した挑戦を続け、課題解決に向けた技術オプションを提示します。

原発でELSIつつうたら放射性廃棄物の問題。それについては

高レベル放射性廃棄物の地層処分をめぐる世代間の衡平性に対しては、地層処分の実現に必要な処分場の設計や安全性の評価に関する研究開発などに取り組んでいきます。

最後に一言

原発でELSIといえば放射性廃棄物の話が最も大きいと思います。放射性廃棄物はずう～っと未来の生命に対しても悪影響を及ぼし続けます。すでに大量に存在している放射性廃棄物すら、まだどう始末するか具体的に決まってません。その上、原発を動かすということは、その放射性廃棄物をさらに増やすってことです。始末のできないものを”今の世代”の豊かさだけのために増やして、後の世代にそのツケをまわし続ける。。。「それって、人としてやっていいことなの？」ということこそがまず考えるべきことのはずです。ところがどっこい、この将来ビジョンって、原発を使い続けた上で、廃棄物が後始末できない問題は原子力科学技術で何とかしますって言うてるだけです。これって、たくさんクローン人間を作っておいて、様々な問題が出ているのに「クローン技術でなんとかします」って言いながらクローン人間作り続けるのと同じじゃないですか？

まず、立ち止まる必要があります。

参考資料

- ①日本原子力研究開発機構HP「日本原子力研究開発機構の将来ビジョン「JAEA 2050+」の公表について」
<https://www.jaea.go.jp/02/press2019/p19103101/>
- ②大月書店「ドイツ脱原発倫理委員会報告—社会共同によるエネルギーシフトの道すじ」
安全なエネルギー供給に関する倫理委員会 著/吉田文和、ミランダ・シュラーズ 編訳
- ③生命科学連携推進協議会HP「よくわかる！はじめてのELSI講座」
<http://platform.umin.jp/elsi/elsi.html>
- ④文科省HP「クローン技術による人個体の産生等について」
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/kagaku/rinri/cl00215.htm
- ⑤e-Gov「ヒトに関するクローン技術等の規制に関する法律」
https://elaws.e-gov.go.jp/search/elawsSearch/elaws_search/lsg0500/detail?lawId=412AC0000000146